

岡崎のまちづくり情報をお届けします!

りた便り

Vol.

78

NPO法人 岡崎まち育てセンター・りた 機関紙〔2008年3月1日〕

2月17日(日)に、岡崎市地域交流センターの3号館にあたる西部地域交流センターが開館しました(開館イベントは2700名を超える来場者でした)。岡崎まち育てセンター・りたは、この公共施設の指定管理者として会館の運営を任されています。これを機会に、新しい地域交流センタースタッフを雇用し、北部、南部、西部それぞれの現場で、新旧スタッフがチームを組んで配属しています。これに先立って、各センター配属の事務局スタッフの配属も異動しました。各センターの良いところを積極的に取り入れ、全地域交流センターの運営の質を向上できればと考えています。

先進事例 づくり

3月は、先進事例発表や成果発表交流会の場として、3つのおススメイベントがあります(詳細は4pを参照)。一つ目は、岡崎市市民協働推進課が主導して実施される「NPO岡崎フェスティバル(3月9日)」です。市民活動助成金や市民協働事業の成果発表から、お役立ち講座まで多彩です。

二つ目は「明日の図書館を選ぶのは誰か(3月13日)」です。これは、NPO図書館の学校という東京のNPO法人が主催するもので、この場で岡崎市図書館交流プラザ(Libra、以下Libra)が事例紹介されます。りぶらサポーターの市民と岡崎市図書館の職員が登壇する予定で、岡崎の動きが全国に発信される機会となる予定です。

三つ目は「プレLibra交流会(3月15日)」。11月の開館後、利用団体同士の交流の場として「Libra交流会」が予定されています。この交流の場のお試し版、という位置づけで実施されます。

岡崎市内の市民活動が活発化してきましたね。今後も、情報発信、活動交流を進めていきます!



岡崎まち育てセンター・りた
団体会員(年会費10,000円)
個人会員(年会費3,000円)

☆ご推薦の団体などお心当たりがありましたらご連絡ください。
事務局(Tel 0564-45-4560)

会員募集中



横浜まちづくりに学ぶ 「文化・アート活動と歴史的建築物の活用」



横 浜というと、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか？ベイブリッジ、横浜海軍カレー、中華街等、ちょっとハイカラで市民が元気なイメージがあるかと思います。市民による文化活動が盛んな横浜から、岡崎まちづくりの参考にすべく、今回は3つの事例をお届けいたします。これらの事例に共通する点は、地域の歴史的資源や自然資源を活用して、その魅力を引き出すような市民の活動が展開されているところです。しかも、その活動を通じて、多くの人々が楽しみながら日本の、あるいは地域の良き文化の継承と発展に寄与しています。

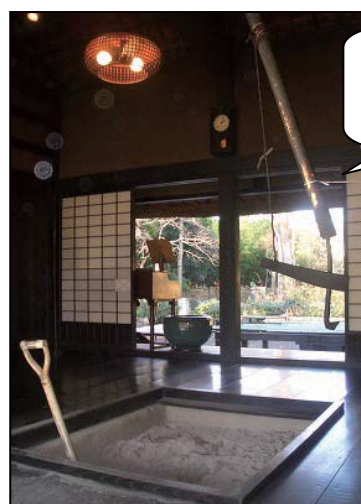


例えば岡崎の中心部だけでも、岡崎城のある岡崎公園、江戸後期の古民家「石原邸（りた便り 16号参照）」や「岡崎信用金庫資料館（旧岡崎銀行本店）」、あるいは創業何百年という老舗店舗、あちこちにあるお寺、といった歴史的資源がありますし、乙川、伊賀川といった自然資源も豊かにあります。

横浜の事例に学びながら、岡崎らしい形で古き良き建築や環境を生かして、新しい市民文化が生まれるような活動を応援できればと思っています。

1. 長屋門公園

横浜市瀬谷区にある「長屋門公園」は、屋敷林に囲まれて、古民家（明治時代の建築）、長屋門、穀蔵、文庫蔵があり、「農家の立派なお屋敷」が丸ごと再現されています。この他に雑木林やせせらぎがあり、里山の風景を散策することが出来ます。この公園は、伝統的な暮らしや風習を体験できる場であるとともに、自然体験を通じて自然と共に暮らしてきた日本人の精神性を継承していく場として、横浜市により整備されました。施設は、平成4年に開設されたものですが「市民が運営する公共施設」として全国的に先駆的な取り組みとして知られています。実際の運営では、定例イベントとして「蔵を活用したギャラリー展示会」「寺子屋（学習会）」「落語」を初め、時には能が舞われることもあります。また、施設の活用からお掃除まで、市民参加により行われているのが特徴です。他にも、季節の行事、趣味の教室、おもちゃ病院や古着の回収があり、物を大切にする文化の実践も行われているのです。



囲炉裏のある公園施設



長屋門をくぐって公園内へ

2. 横浜・文化創造界隈 ZAIM



ZAIM 外観



区民活動センターのある ZAIM 別館

『現代美術の国際展「横浜トリエンナーレ 2005」の準備期間から終了まで、市民サポーターやアーティストの活動と交流の場として活用された「旧関東財務局」及び「旧労働基準局」。中区日本大通りに面するアクセスの良いこの二つの歴史的建造物を、横浜市では次の「横浜トリエンナーレ 2008」に向けて、市民サポーターやアートNPOの活動をさらに盛り上げ、ネットワークを広げるための拠点施設として、開放していくことを決めました』
『ZAIM という表記は、Z A = 「座」 = 人々が集い、交流する場。I M = intermediary = 「中間支援」機能（若手アーティストやNPOなどの活動を支援するための環境整備）以上の「場」と「機能」の相乗効果という意味を込めています』（以上、下記HPより抜粋）何よりも「財務局」の名称を、遊び心をもって「ZAIM」と名付けたところが面白いですね。現地に行くと、結構な頻度でアーティストを交えたワークショップが実施されており、もれ伝わってくる音楽の音色によって、施設全体で人々が元気に活動している様子を感じることが出来ました。

3. BankART (バンカート) 1929

美術館
の様な
空間



『「BankART 1929」は横浜市が推進する歴史的建造物を活用した文化芸術創造の実験プログラムです。BankART (バンカート) は元銀行であったふたつの建物を芸術文化に利用するという意味を込めた造語。ちなみにその舞台となる旧第一銀行と旧富士銀行の建物はどちらも 1929 年に建てられました』（以上、下記HPより抜粋）実際に現地を訪ねてみると、横浜駅から程近い馬車道駅の目の前にあり、都心の一等地にあります。街角に重厚な歴史的建築物があることで、まちの印象がグッと引き締められました。中に入ると、綺麗に内装が改修されており、美術館のような展示空間が広がっています。2007年12月当時、1月に開催される予定の「食と現代美術」の案内が出ていました。従来、接点が無かった世界がつながりあう、交易すると言う意味で、まちとアート活動の融合が図られているのです。



超高層建築の
隣に近代建築

- 参考情報■ 【長屋門公園：HP】 <http://www4.ctktv.ne.jp/~kominka/>
【ZAIM：HP】 <http://za-im.jp/>
【BankART (バンカート)：HP】 <http://www.bankart1929.com/>

岡崎まち育て情報 …今月は、先進的な市民活動が紹介・発表される場が目白押し！

① 「NPO」岡崎フェスティバル」

日時：3月9日（日）9:00～16:30
場所：甲山会館ホール、市民会館ほか
主催：岡崎市・市民協働推進課
内容：助成金報告会、市民協働事業の報告会を初め、市民活動団体の発表交流の場。

② 「明日の図書館を選ぶのは誰か」

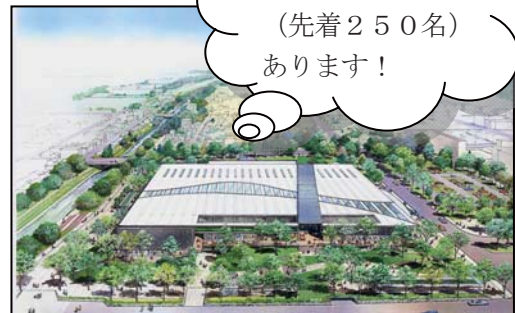
日時：3月13日（木）10:00～16:40
場所：あうるすぽっと（東京都豊島区立舞台芸術交流センター）ライズアリーナビル
主催：NPO 図書館の学校
内容：図書館運営に関するシンポジウム。岡崎市図書館交流プラザ（Libra）の取り組みが、全国デビューします。

④ 「市民協働の仕組みを考える市民会議」

日時：3月20日（木・祝）14:00～16:00
場所：未定
主催：岡崎市市民協働推進課事業推進班
内容：市民協働推進条例の条文について協議。

③ 「プレ Libra 交流会」

日時：3月15日（土）12:30～16:30
場所：コミュニティサテライトオフィス（松坂屋岡崎店6階）
主催：りぶらサポーター支援会議
後援：岡崎市・岡崎市教育委員会
内容：松坂屋6階を借り切り、小さなLibra（岡崎市図書館交流プラザ）を再現。むかし語り、国際交流、ジャズコレクション、伝統工芸、サポーター活動発表会他、「Libraって何!？」が分かる場です。
参加費：無料。



記念品がもらえる
スタンプラリー
(先着250名)
あります!

専門家派遣

…りたは、岡崎市内外の市民協働・市民参加のまちづくりを技術的に支援しています。

① 「とよた更生保護ワークショップ③」

日時：3月2日（日）13:00～16:00
場所：豊田市福祉センター
主催：とよたBBS会
内容：BBS活動を推進の行動計画づくり。

③ 「愛地球博記念公園マネジメント会議 第4回準備会」

日時：3月27日（木）13:00～15:00
場所：愛知国際児童年記念館
主催：愛知県公園緑地課
内容：市民参加による愛地球博記念公園の運営方法に関する協議。

② 「近隣コミュニティ提案型モデル事業 発表会」

日時：3月18日（火）13:00～18:00
場所：愛知県立大学
主催：愛知県地域振興部地域振興課
内容：事業に選定された事例の報告会。岡崎からは「なごみん横丁」を事例紹介します。



事務局
より

年度末の報告書作成が
山場を迎えます。
平成19年度事業の総決算！

〒444-2147 岡崎市西蔵前町字季平45-1
岡崎市北部地域交流センター・なごみん内
NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた事務局
☎ (0564) 45-4560 Fax (0564) 45-1560